

教科 理 科

科目	科学と人間生活	学年・コース	1 学年	コース	単位数	2 単位	区分	必修
学習の目標		自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、自然に事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。						
教科書		科学と人間生活(東京書籍)						
補助教材等		新課程 ニューサポート 科学と人間生活						
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間
1 学 期	4	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用 ①目に見える光の世界			・身近な光のスペクトルを理解する。 ・光の三原色について理解する。			6
	5	②光の進み方とその基本性質			・光の直進性、屈折、反射について理解する。			6
	6 7	③見えない光とその応用			・可視光以外の電磁波があることを理解する。 ・電磁波の利用について理解する。			6
2 学 期	8	1編 生命の科学 1章 生物と光 ①植物の生育と光			・光による炭酸同化のしくみを理解する。			6
	9	②光シグナルと生物			・動植物の光に対する反応について、 生育と行動の思考できるようにする。			5
	10	③ヒトの視覚と光			・光受容器官としての眼のしくみを 理解する。			6
	11	4編 宇宙や地球の科学 1章 身近な天体と太陽系における地球 ①天体が刻む「時」			・天体の動きを把握し、動きとともに 日常で使う暦との関連を理解する。			6
12	②太陽系の構造			・太陽系の構成を知ること、地球に生命が 存在することのできる理由を理解する。			6	
12	③太陽が動かす大気と水			・大気や水が太陽活動によって循環をすること で、人間生活に関わることを理解する。			6	
3 学 期	1	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用 ①金属			・生活に深く関わる金属の性質や用途について 理解する。			6
		②プラスチック			・生活に深く関わるプラスチックの性質や 用途について理解する。			6
		③資源の再利用			・持続可能な循環型社会において、資源の 再利用や、環境について理解する。			5

評価の観点	知識・技能	自然と人間生活との関わりおよび科学技術と人間生活との関わりについて理解を深め、科学的に探究するために必要な技能が身についたか。
	思考・判断・表現	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力が身についたか。
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味関心を高めることができたか。